

# NEWS CLIP & AV MATERIAL

## ● ニュースクリップ&映像教材



### ■ 「エル・ネット」新システムへ移行し運用開始

文部科学省では、4月1日より従来のエル・ネットをインターネットによる配信システムへ移行し運用を開始した。新たなシステムはストリーミング配信により行われ、配信される動画コンテンツ等はインターネットに接続できるパソコンがあれば、いつでも誰でも視聴できる。各コンテンツは、動画による講義やテキストも閲覧できる(今月の主な新着コンテンツはエル・ネット欄参照)。

## NEWS CLIP

### 協会情報

#### ■ 「2008年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は「教育に利用される映画、ビデオ、スライド、DVD等、映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に、次の要領で開催される。

〈部門・分野〉 1. 教育映画(16ミリ版)〔学校教育部門(小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校)、社会教育部門(家庭生活・市民生活)、職能教育部門、児童劇・動画部門、教養部門〕

※1社の参加本数は制限なし。

2. 教育ビデオ(スライドを含む)〔学校教育部門(小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校)、社会教育部門(家庭生活・市民生活)職能教育部門、動画部門、教養部門〕

※1社の参加本数は、最高15本までとし、各部門等(8分野)における参加本数は、それぞれ3本以内。

3. 教育DVD〔学校教育部門(小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校)、社会教育部門(家庭生

活・市民生活)、職能教育部門、動画部門、教養部門〕  
※1社の参加本数は、最高15本までとし、各部門等(8分野)における参加本数は、それぞれ3本以内。

なお、本年度、教育コンピュータソフトウェアの部は休止。

〈参加資格(各部門共通)〉平成19年6月1日～平成20年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの。

〈表彰(各部門共通)〉○最優秀作品賞(文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞)○優秀作品賞(日本視聴覚教育協会会長賞)

〈締め切り・問い合わせ先〉平成20年6月2日(月)までに、下記へ申し込むこと。応募にあたっては、下記アドレスより、出品申込書をダウンロードの上、申し込むこと。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル (財)日本視聴覚教育協会

TEL 03-3591-2186 FAX 03-3597-0564

<http://www.javea.or.jp>

#### ■ 平成20年度文部科学省委託「デジタルテレビ等を活用した先端的教育・学習に関する調査研究」

(財)日本視聴覚教育協会では、文部科学省の委

託を受け、「地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業」を実施することとなった。この事業は、平成17年度より3か年にわたり推進してきた「地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業」において、視聴覚・放送教育に関し、これまでに蓄積されたノウハウを活用し、学校での「地上デジタルテレビ放送の特長を活かした番組」の利活用に関する調査研究を実施するとともに、今後の環境に応じた機器導入のためのモデルを示すことで、学校における地上デジタルテレビ放送の普及・活用の促進を最大限に図ることを目的としている。

事業の詳細は本誌にて、紹介していく予定である。

## AV情報

### ■ 映画会「発掘された映画たち2008」と「EUフィルムデーズ2008」

東京国立近代美術館フィルムセンター（東京都中央区京橋3-7-6）では、標記2つの映画会を上映する。近年新たに発掘・復元したフィルムを上映する企画「発掘された映画たち2008」において、日本最古のアニメ「なまくら刀」（5月11日（日）13時から）が、上映される。

〈会期〉平成20年6月1日（日）まで。「忠臣蔵」[CIE映画選集]他96作品を上映。

一方の「EUフィルムデーズ2008」では、EU加盟国の近作を一堂に集め、ヨーロッパ社会・文化の多様性を紹介する。

〈会期〉平成20年5月16日（金）～6月5日（木）時間は各作品による。



「Occident」（ルーマニア）より

〈料金〉一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円等。

〈上映時間等問い合わせ先〉ハローダイヤル 03-5777-8600

### ■ 平成20年度NHK放送技術研究所の公開

NHK放送技術研究所は「技術のチカラがテレビを変える」をテーマに、最新の研究成果を展示する研究所を公開する。

〈日時〉平成20年5月22日（木）～25日（日）10:00～18:00（最終日は17:00終了）

〈会場〉東京都世田谷区砧1-10-11

〈内容〉○研究展示 3,300万画素カラー撮像実験、広ダイナミックレンジプロジェクター、未来のスーパーハイビジョン家庭視聴イメージ、高度BSデジタル放送伝送システム、音声認識による生放送字幕制作システム等約40項目○講演・研究発表○ポスター展示など

〈問い合わせ先〉NHK放送技術研究所  
TEL 03-5494-1125

### ■ 情報メディア学会第7回研究会

情報メディア学会（渡部満彦会長）では、「変革期の情報メディア—記録メディアの歴史と保存」を基調テーマに、標記大会を開催する。

〈日時〉平成20年6月28日（土）10:00～17:30  
〈会場〉東京大学山上会館（東京都文京区本郷7-3-1）

〈内容〉○基調講演「アーカイブズから見た情報メディアの新しい捉え方」高山正也氏（国立公文書館）○特別講演「情報メディアの歴史と変遷—印刷革命を中心に」（予定）若松昭子氏（聖学院大学）○プロダクトレビュー○ポスター紹介  
〈参加費〉非会員1,500円。※資料代を含む  
〈申し込み先〉6月23日（月）までに、電子メール（office@jsims.jp）で事務局まで申し込み。  
〈問い合わせ先〉〒305-8550茨城県つくば市春日1-2筑波大学大学院図書館情報メディア研究科内情報メディア学会事務 FAX020-4623-1228

### ■ 映像トピックス DVDと絵本が一緒になったDVDブック「探偵アイちゃん“細胞”博士を知る」



細胞について、その動きをDVDで視聴することで実感し、さらなる知識を絵本から学ぶことのできるDVDブックが、(株)アイカムから発行された。詳細は下記の通り。  
〈対象〉小学校5年生から一般成人

〈体裁〉B5変型版（DVD12分・書籍48頁）

〈定価〉 1,575円 (税込)  
 〈問い合わせ先〉 (株)アイカム TEL03-3960-9611

## 短 信

### ■ 文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

○参事官補佐 坪内孝治氏→大阪教育大学管理部長 (後任:生涯学習政策局生涯学習推進課専門官=江崎俊光氏) ○専門官 (命) 情報政策室室長補佐 杉山達也氏→千葉県教育委員会総務課主幹 (後任:大臣官房付 (併) 内閣府事務官 (内閣府本府規制改革推進室企画官)・(併) 内閣府企画官 (政策統括官 (経済社会システム担当) 付)・参事官 (市場システム担当) 付)・(併) 内閣府企画官 (政策統括官 (経済社会システム担当) 付)参事官 (社会システム担当) 付) =企画官 (命) 情報政策室長 萬谷宏之氏) ○教育情報施策調整係長 大坂香織氏→男女共同参画学習課男女共同参画推進係長 (後任:教育情報施策調整係主任=大城光雄氏) ○メディア係長 秋元大輔氏→船橋市教育委員会管理部総務課主査 (後任:千葉県総合教育センター指導主事=牧雅英氏) ○ネットワーク係主任 濱平幸典氏→政策課専門職 (併) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター普及・調査係長

■ (株)NHKテクニカルサービスは、(株)NHKコンピュータサービスと合併し、(株)NHKメディアテクノロジーとなった。  
 (株)NHKメディアテクノロジー  
 〒150-0047東京都渋谷区神山町4-14第三共同ビル TEL03-3481-7820 FAX03-3481-7609  
<http://www.nhk-mt.co.jp/>

■ (株)紀伊國屋書店映像情報部は、下記に移転した。5月7日より業務を開始する。  
 〒213-0011川崎市高津区久本3-5-7新溝ノロビル2F  
 TEL044-874-9659 FAX044-829-1020

■ (株)毎日イーヴィアール・システムは、(株)放送映画製作所と合併し、新たに(株)放送映画製作所となった。さらに、(株)放送映画製作所東京支社を開設し、(株)毎日イーヴィアール・システムの業務を継承する。  
 (株)放送映画製作所東京支社  
 〒103-0027東京都中央区日本橋3-3-9西川ビル  
 TEL03-5202-6060 FAX03-5205-6066  
<http://www.evr.co.jp/>

■ (財)日本科学映像協会は、3月31日付で解散した。

## AV MATERIAL

### 文部科学省選定作品

■ 3月選定 〔紙〕紙しばい / 〔ビ〕ビデオ / 〔D〕DVD  
 「木づかいで地球を救え！」 〔D〕25分 〈少年・青年・成人、国民生活 (環境・資源・エネルギー)〉 共和教育映画社  
 「オーケストラの向こう側〜フィラデルフィア管弦楽団の秘密 (Music From The Inside Out)」 〔D〕90分 〈青年・成人、教養・情操 (音楽・演劇)〉 (有)セテラ・インターナショナル  
 「幼児・児童虐待―見えない虐待をしないために―」 〔ビ〕25分 〈成人、家庭生活 (子育て)〉 東映 (株)  
 「高齢者虐待―尊厳を奪わないために―」 〔ビ〕26分 〈成人、国民生活 (高齢社会)〉 東映 (株)

■ 4月選定

「ともだちいっぱい！」 〔紙〕12枚 〈幼稚園／幼児、教養〉 (株)童心社  
 「動物の体のつくり第3巻 呼吸・排出」 〔D〕15分 〈中学校、理科〉 クリエイティブ・コア (株)  
 「りんごくんのおうちはどこ？」 〔紙〕8枚 〈幼児、教養〉 (株)童心社

### 放送番組・web配信

#### 中学生日記

(土) 19:15~19:44 / NHK教育  
 翌週 (土) 14:00~14:29 / 再放送 NHK教育  
 ※都合により番組内容が変更となる場合があります。

■ 3日「3年C組シリーズ 特別授業\*受験なんて怖くない！」

■10日 中学生日記プレーバック 内容未定

■17日 「マジックと嘘」

■24日 「言葉にできない」

■31日 中学生日記プレーバック 内容未定

発見！人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。

〈放送についての問い合わせ〉

(財)民間放送教育協会03-6406-2171

■3回 3日「ロボット大戦争—ものづくりに生き残りかける—」

電気関連の下請企業300社が集積する山形県長井市で、ロボットによる町おこしを目指しているグループがいる。その名も「NAGAIロボットプロジェクト」。工場の若手経営者が中心となり、産・官・学の多彩なメンバーが顔をそろえる。ロボット産業の町を夢見る若き技術者たちの姿を追う。(山形放送)

■4回 10日「郷土で学ぶ」

瀬戸内海に浮かぶ山口県周防大島に「周防大島郷土大学」がある。校舎も専門の講師もないが、地元NPOの運営で毎回講師を招き、ふるさとの歴史等を学んでいる。その中心となる新山玄雄さんは、沖家室という小さな島にある泊清寺の住職。25歳のとき、周防大島出身の民俗学者・宮本常一と出会った。「郷土大学」はその宮本が始めたもの。郷土大学で学んだ新山さんは、宮本が亡くなったあと休講になっていた郷土大学を再開した。人の力を信じて学び続ける姿を紹介する。(山口放送)



■5回 17日「和菓子で町おこし」

熊本市南部に位置する川尻町。かつては薩摩街

道の要所として賑わいを見せていたが、1960年代から商店街を訪れる人は少なくなっている。町に6軒ある和菓子屋のひとつで、江戸時代から続く老舗の和菓子店天明堂の7代目に当たる北川和喜さんは、生まれ育った川尻の町が再び元気を取り戻すようと、ライバル店でもある和菓子の店主に呼びかけ、18年前に「開懐世利六菓匠」を結成、「和菓子を通した町興し」に取り組んでいる。彼らの奮闘ぶりを紹介する。(熊本放送)

■6回 24日「未来に残したい“しまくとぅば” —三線奏者・ヒガバイロン」

沖縄独特の方言「しまくとぅば」が消滅の危機に瀕している。お年寄りの間では今でも使われているものの、若い世代には馴染みが薄くなっている。そんな状況に危機感を抱き、その普及に励む一人の男性がいる。アメリカ人の父と、沖縄出身の母との間に生まれた三線奏者「比嘉光龍(ひがばいろん)」。彼の活動を通して、古き良き伝統を後世に残すことの意義を浮き彫りにしていく。(琉球放送)

■7回 31日「有田の里でお碗が歌う」

形も大きさも違う茶碗をピアノの鍵盤のように並べて音を奏でる「碗琴」は、50年ほど前に磁器の里、佐賀県有田町で生まれた。一度は途絶えたその音色を復活させたのが筒井孝司さん。しかし、考案者の遺族から楽器として譲り受けたのは14個の茶碗のみ。これでは限られた曲しか演奏できないと、筒井さんの音探しが始まった。有田焼の魅力を“音”の中に求め、「有田の音」を作ろうと立ち上がった筒井さんの姿を追う。(長崎放送)

エル・ネット

今月の主な新着コンテンツは、下記の通り。  
<http://www.elnet.go.jp>へアクセスを。

- 「地域の環境—森・川・海を繋ぐ環境と暮らし—その保全・再生を目指して」
- 「防災と自然—安全と環境を守るための知恵と技」
- 「子どもは宝やで！—子育て親育ち—」
- 「みんなの劇団『ワイワイ子育て』」
- 「ボランティア(3)~高齢者福祉に対する社会貢献~」
- 「植物生態学とタンポポ戦争」

なお、エル・ネットの概要は次号で紹介の予定。